

	ウチエのポータブルトイレ
	さわやかチェア 泉Ⅱ
	ウチエのポータブルトイレ
	さわやか CH
	ウチエのポータブルトイレ
	タスカル C

ご使用のしおり

さわやかチェア 泉Ⅱ

品番:8252(肘掛け自在)
8253(肘掛けはね上げ)
8256(ホット便座・肘掛け自在)
8257(ホット便座・肘掛けはね上げ)

さわやかCH

品番:8240(肘掛け自在)
8241(肘掛けはね上げ)
8242(ホット便座・肘掛け自在)
8243(ホット便座・肘掛けはね上げ)

タスカルC

品番:8120
8121(ホット便座)

**最大使用者体重
100kg 以下**

このたびは、弊社の『さわやかチェア 泉Ⅱ』『さわやかCH』『タスカルC』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書は必ず保管しておいてください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
- ・お買い上げのポータブルトイレは改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

さわやかチェア泉Ⅱ



肘掛け自在

肘掛けはね上げ

さわやか CH



肘掛け自在

肘掛けはね上げ

タスカル C



便座

尿ハネガード
(PTW、ホット便座にはついておりません。)



■ 付属品

- ・ ご使用のしおり (本書)
- ・ ニオワン (消臭剤) 試供品
- ・ L型レンチ (二面幅 4mm)
- ※ 泉Ⅱ、CHのみ

・ 布製ペーパーホルダー15 (芯、カバー)



※ トイレ用
ペーパーは
付属されて
いません。

仕様

※重量 () はホット便座

	さわやかチェア泉Ⅱ	さわやかCH	タスカルC
材 質	・ 本体／天然木、アルミ (タスカルC) ・ 汚水トレイ (CH)／ABS樹脂 ・ 滑り止めゴム／合成ゴム	・ 便座／EVA、ABS樹脂 ・ 背シート、座パッド／合成皮革、ウレタンフォーム ・ バケツフタ、バケツ本体／ポリプロピレン	・ 二重バケツ／ポリプロピレン (泉Ⅱ、タスカルC)、 ABS樹 (CH)
重 量	約17.5kg (約18.5kg)	約15kg (約16kg)	約18kg (約19kg)
バケツ容量	約10ℓ		
電 源 (ホット便座)	AC100V-35W		

サイズ

単位:cm

	さわやかチェア泉Ⅱ		さわやか CH		タスカル C
	自 在	はね上げ	自 在	はね上げ	
幅	52	54	51.6	53.5	56
奥 行	56	57	62.4		64.5
高 さ	76.5～87		78.5～90.5		82.5～96
座 幅（肘～肘）	43	44.5	43.6	44.2	44.5
便座奥行	43.5				
肘から便座	19／21.5／24		19／21.5／24	18.5／21／23.5	0／12.5／20／24.5 ※
便座高	33～43.5（1.5cm刻み、8段階）		34.5～46.5（3cm刻み、5段階）		38～52（無段階）
背シート奥行	46／48				48

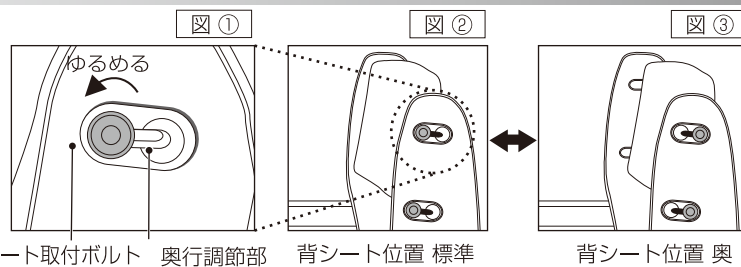
※水平時

背シートの奥行調節について

さわやかチェアⅡ

さわやか CH

1. 背シートは左右4ヶ所の背シート取付ボルトで固定されています。付属品のL型レンチを用い、全ての取付ボルトが奥行調節部から浮く程度まで緩めます(図①)
2. 背シートを前後にスライドさせます。(図②～図③)
3. 4ヶ所の背シート取付ボルトを締め付けて、固定します。



⚠ 注意

- ※背シートは斜めに取り付けができません。
- ※ボルトは付属品のL型レンチでしっかり締め付けしてください。

肘掛けの取り扱い方

さわやかチェアⅡ

さわやか CH

⚠ 注意 ※人が座っている状態やものを載せた状態で肘掛けを持って移動しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

●肘掛け自在タイプ

1. 肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
2. ご利用になる肘掛けの長さを上にして取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。短い肘掛けはベッド等への横移乗が楽になりますので、ベッドサイドでのご利用の際におすすめいたします。

●肘掛け自在タイプ高さ調節

1. 肘掛けはA、B2ヶ所のボルトで固定されています。付属のL型レンチを用いて抜いてください。
2. ご利用になる高さに合わせて取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。高さ調節は3段階です。

⚠ 注意 ※ボルトは付属のL型レンチでしっかり締め付けしてください。

さわやか CH

※必ず、本体と肘掛けの間に40mm座を取り付けてください。

肘掛けを回転させて長・短自在に設定！
症状に合わせて肘掛けの長さが4通り付け替えできます



●肘掛けはね上げタイプ

1. 肘掛けロックバーの上部を押してロックを解除し(写真①)、肘掛けをはね上げます。(写真②)
2. 肘掛け支柱は折りたたむことができます。(写真③④)
3. 肘掛けはさらに後方に回転させることができます。(写真⑤)
4. 肘掛けを戻し、肘掛け受けにはめ込むとロックされます。

ここを押して下さい



肘掛けロックバー 写真①



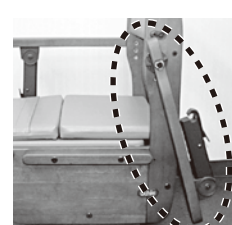
写真②



写真③



写真④



写真⑤

⚠ 注意

- ※肘掛け支柱を折りたたんだ場合(写真④)、必ず支柱を(写真③)の状態に戻してから、肘掛け受けにロックしてください。
- ※使用時には必ず肘掛けロックバーをロックしてください。ロックがされていないと肘掛けが外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※はね上げた肘掛けに寄りかからないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。上がった肘掛けは後方に回転するので寄りかかると危険です。
- ※固定した肘掛けの先端を内側から強く押さないでください。肘掛けロックバーが肘掛け受けから外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※使用者を乗せたまま肘掛けを持って移動しないでください。肘掛けロックバーが破損し、転倒、けがをするおそれがあります。

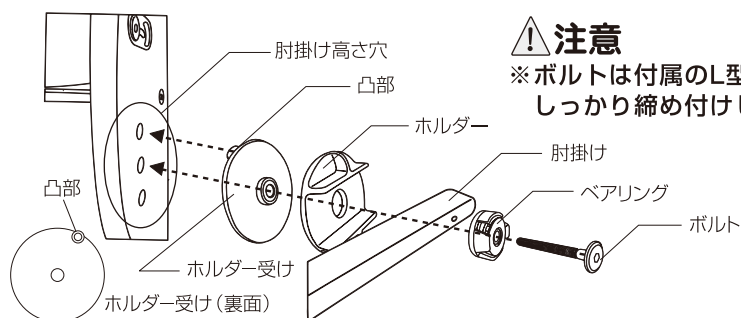
肘掛けの取り扱い方

●肘掛けはね上げタイプ高さ調節

さわやかチェア泉Ⅱ

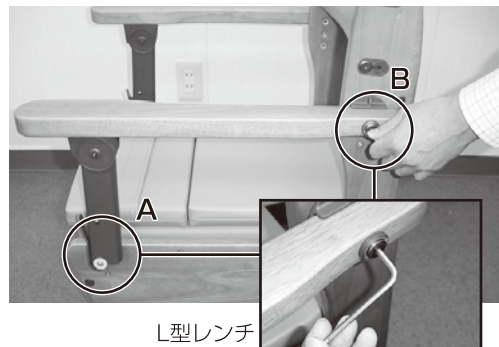
さわやか CH

1. A・B2ヶ所のボルトを、付属のL型レンチを用いて抜いてください。
- 2.ホルダー受けの穴をご利用になる肘掛け高さの穴に合わせます。凸部を上、もしくは下の穴に合わせます。
- 3.ホルダー、肘掛け、ベアリングの順に取り付け、A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めつけてください。
高さ調節は3段階です。 ※出荷時は一番上の段に取り付けています。



⚠ 注意

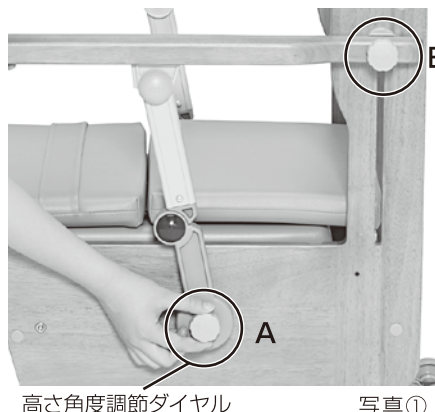
※ボルトは付属のL型レンチでしっかりと締め付けしてください。



●肘掛け高さ調節

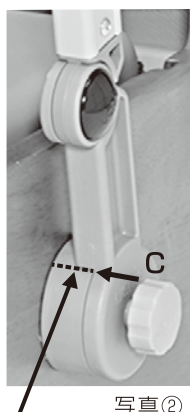
タスカル C

1. A・B2ヶ所のノブボルトを軽く緩めてください。(写真①)
- 2.高さ角度調節ダイヤルを、肘掛けを低くしたい時は時計回りに回し、高くしたい時には反時計回りに回します。肘掛け支柱を高さ角度調節シールのメモリに合わせて調節し、ノブボルトを締めます。(写真②)
- 3.Bのノブボルトを上下に動かして肘掛けの角度を調節し、ノブボルトを締めます。
- 4.最後に、A・B2ヶ所のノブボルトがしっかりと締まっているかを確認をしてください。



高さ角度調節ダイヤル

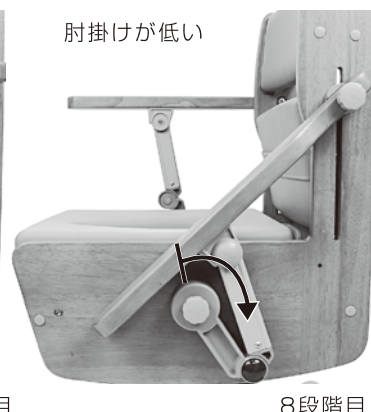
写真①



写真②



1段階目



8段階目

高さ角度調節シール

5 4 3 2 1 0 1 2 3 4 5

C

※高さ角度調節ダイヤルは8段階の調節が可能です。肘掛けを水平に調節する場合は、左から1、3～5段階目になります。6～8段階目の調節は横移乗の際などにお使いください。

※背が低い方、背が高い方など、水平時の肘掛けの高さが立ち上がりなどに合わない場合は、肘掛けを斜めにすることで微調節が可能です。

⚠ 注意 ※肘掛けは斜めにも設定できますが、極端な斜めの角度に調節した場合、立ち上がり時など手が滑る危険性がございますので、注意してお使いください。

お座りパッドの上げ方

お座りパッドを写真①のように後方に押します。後方に押すと2つに折りたたため、背もたれの下に収容されます。パッド内側の汚れが背中当たる事ありません。

※戻す時はお座りパッドのひもを前方に引き戻して下さい。(写真③)

※お座りパッドに座る際は、バケツにふたをしてからお座りください。

※お座りパッドが折りたたまれた状態から、さらに後ろに押さないでください。破損するおそれがあります。



写真①



写真②



写真③

お座りパッドの取り外し方、取り付け方

- 1.後方から左右のノブナットをゆるめて外し、ばね座金と座金を取り外します。(写真①)
- 2.L型部品を手で押さえながらお座りパッドを上げて外します。(写真②)
反対側も同じように外してください。
・取り付ける際はL型部品にお座りパッドのねじを通し、座金とばね座金を入れて片側づつノブナットで固定してください。



写真①



L 型部品

写真②



注意

※取り付けの際は必ずばね座金を入れてください。

スぺーサーボードの取り扱い方

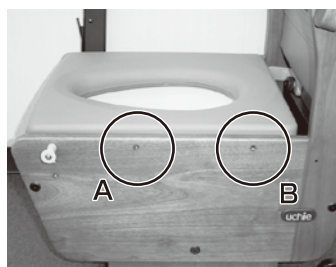
さわやかチェア泉Ⅱ

さわやか CH

ベッドとのスキマを埋めるスぺーサーボードが、本体側面に付属されております。(肘掛けはね上げタイプのみ)

ベッドの位置に合わせて、左右どちらにでも取り付け可能です。

- 1.A・B2ヶ所のネジ穴にスぺーサーボードを合わせます。(写真①)
- 2.A・B2ヶ所をボルトでしっかりと締めてください。(写真②)



写真①



スぺーサーボード

写真②



注意

※ボルトは付属品のL型レンチでしっかりと締めてください。

スぺーサーボード使用時は、ベッドの高さ調節には注意してください。

スぺーサーボードがベッドのフレームにあたり、転倒や故障の恐れがあります。

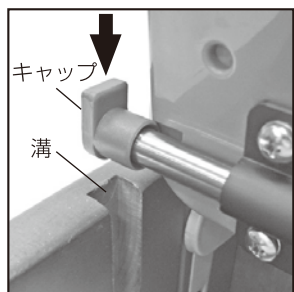
便座の取り扱い方

お座りパッドを開けて便座を上げ、そのまま持ち上げると便座を取り外すことができます。(写真①)

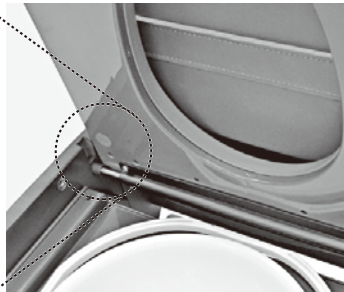
便座を取り付ける際は、お座りパッドを開けて本体の溝と便座受けパイプキャップの向きを合わせ(丸い方を差し込む)、便座を差し込んで取り付けてください。(写真②)



写真①



便座受けパイプ



写真②



便座受け

写真③



注意

※便座を上げる際は、便座受けに下から指を掛けてゆっくり上げてください。(写真③)

ウレタンカバーをつかんで上げるとウレタンカバーが外れるおそれがあります。

※便座を上げてもすぐ落ちてきてしまう場合は、4ヶ所のネジ(写真④)を少しずつ締めていただくと、ゆっくり上げ下げができます。

(きつく締めすぎると便座の上げ下げができません。)



写真④

尿ハネガードについて

便座は尿ハネガード付きです。尿飛び、尿ハネを防ぎます。



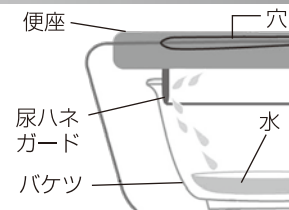
注意

※使用状況によっては、尿飛び、尿ハネが起こる可能性があります。

※ホット便座には付きません。



尿ハネガード



便座とバケツのすきまを埋めます。

二重バケツの取り扱い方

さわやかチェア泉Ⅱ

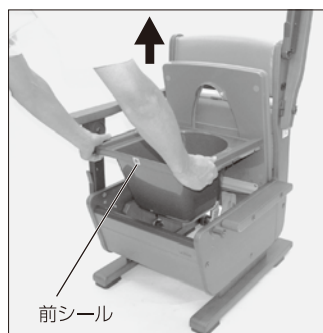
タスカル C

●取り外し方と取り付け方

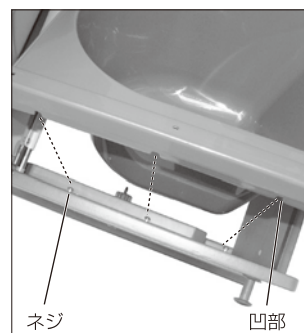
1. お座りパッドと便座を上げてバケツを取り出し(写真①)、二重バケツを真上に取り外してください。(写真②)
 2. 二重バケツを取り付ける際は、二重バケツの‘前シール’が貼られた面を前にして(写真②)、二重バケツの凹部をねじに合わせて差し込んでください。(写真③)
- ・バケツは二重バケツの突起(写真④)の間にバケツのリブ(写真⑤)が入るように、バケツを設置してください。(写真⑥)



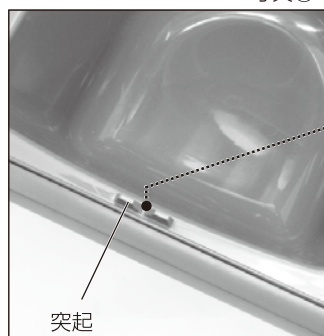
写真①



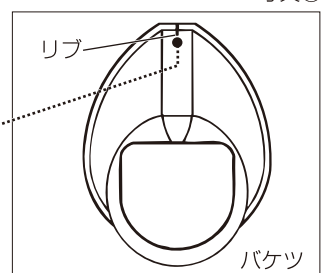
写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

⚠注意

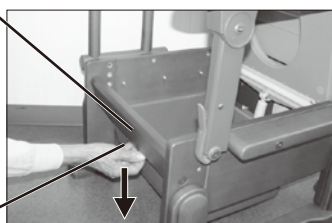
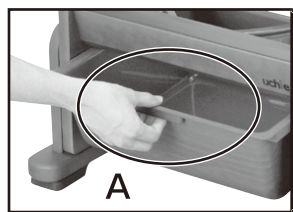
- ※二重バケツには前後があります。‘前シール’が貼られた面を前にして取り付けてください。
- ※二重バケツに、バケツがしっかり納まっていることを確認してください。
- ※二重バケツにバケツを取り付けた状態で使用してください。
- ※二重バケツのみで使用しないでください。
- ※二重バケツを直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがをするおそれがあります。また、退色するおそれがあります。

二重バケツの取り扱い方

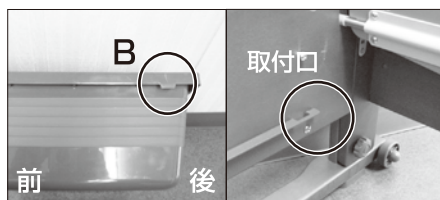
さわやか CH

●取り外し方

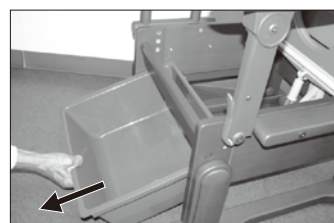
1. お座りパッドと便座を上げて、バケツを取り外してください。
 2. 二重バケツのA部をつかみ、いったん下げてください。(B部が取付口から出るように)(写真①②)
 3. 下げた状態でそのまま手前に引くと二重バケツが取り外せます。(写真③)
- ※A部がつかみにくい場合は、A部が下になるようにバケツ後方部を下から手で上げて傾けてください。
- ※バケツを取り出してから二重バケツを取り外してください。バケツを付けたまま二重バケツは取り外せません。



写真①



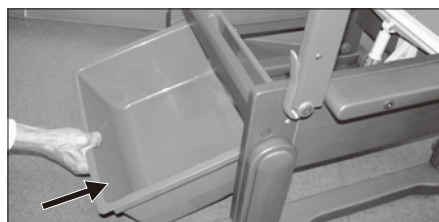
写真②



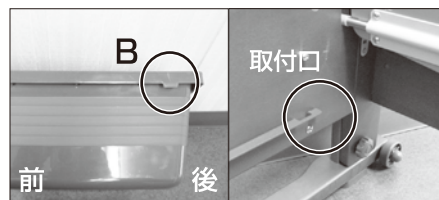
写真③

●取り付け方

1. バケツを本体から取り外してください。
2. ななめにした二重バケツをB部が取付金具に乗るまで押し、さらにB部が取付口に入るまでまっすぐ押ししてください。(写真①～③) 二重バケツがしっかり取付金具にはまっていることを確認してください。



写真①



取付金具 写真②



写真③

※取り外し、取り付けは二重バケツの後方部分を少し上げて行ってください。

⚠注意

- ※二重バケツにバケツを取り付けた状態で使用してください。二重バケツのみで使用しないでください。
- ※二重バケツを直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがをするおそれがあります。また、退色するおそれがあります。

■トイレとして使用しない場合は…

バケツと二重バケツを取り外すと木製の椅子としてお使いいただけます!

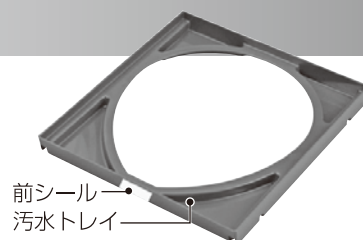


汚水トレイについて

さわやか CH

・バケツの下に汚水トレイを設けております。排尿の際に飛散した漏れによる汚れを防止します。

・汚水トレイを取り付ける際は、“前シール”が貼られた面を前にして設置してください。

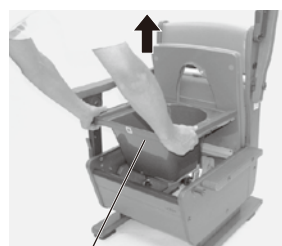


座面の高さ調節の仕方

さわやかチェア泉Ⅱ

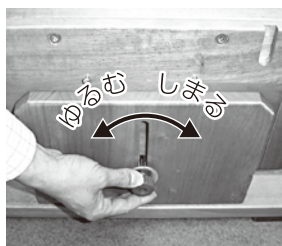
座面の高さは、8段階(1.5cm 刻み)の細かい調節が可能です。

- 1.お座りパッドと便座を上げて、バケツ、二重バケツを外します。(写真①)
- 2.側面のボルト頭を付属のL型レンチで押さえ、本体内側にあるノブナットをぎりぎりまでゆるめます。(写真②)
- 3.本体内側の凹部から脚部の凸部を外してずらします。(写真③)
- 4.座面高と凸部の向きを表①に合わせます。向きが合っていない場合はノブボルトをはずして凸部を入れ替え、座金(小)、ばね座金、座金(大)を通したノブボルトで凸部を締め、しっかり固定してください。(図①)
- 5.脚部をスライドさせて凸部を使用する座面高の凹部位置に合わせ(表①参照)、凸部を凹部に差し込みます。
- 6.L型レンチを使用し、ノブナットをしっかりと締めてください。



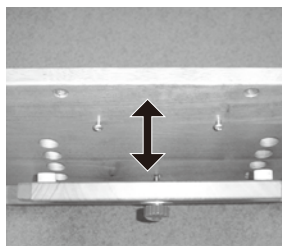
二重バケツ

写真①

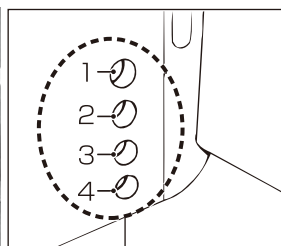


ゆるむ しまる

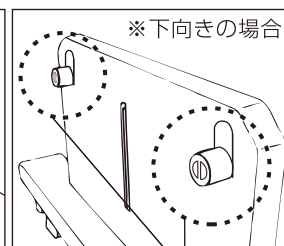
写真②



写真③



凹部



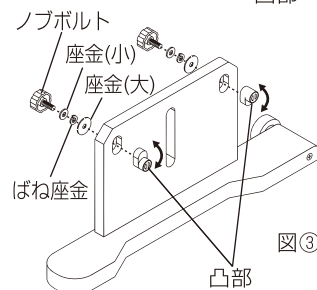
※下向きの場合

座面高 (cm)	33	34.5	36	37.5	39	40.5	42	43.5
凸部の向き	下	上	下	上	下	上	下	上
凹部の向き	1		2		3		4	

表①

⚠ 注意

- ※高さ調節は片側ずつ行ってください。
- ※ご使用の際はノブナットを必ずしっかりと締めてください。
- ※高さ調節が困難な場合はノブナットをゆるめて外し、脚部を完全に外して調節してください。
- ※高さ調節は本体を寝かさずに行ってください。本体を寝かされると傷がつくおそれがあります。



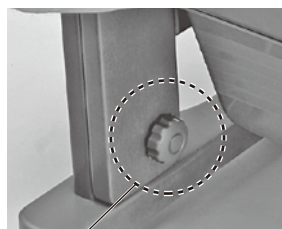
図③

座面の高さ調節の仕方

さわやか CH

座面の高さは、5段階(3cm 刻み)の調節が可能です。バケツを取り外さなくても高さ調節ができます。

- 1.片側の脚部内側2ヶ所のノブボルトをゆるめて取り外します。(写真①②)
- 2.使用する座面高の凹部位置に凸部を差し込みます。(写真③～⑤)
- 3.2ヶ所のノブボルトをしっかりと締めてください。(写真②)



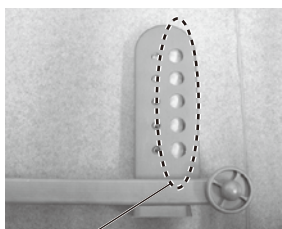
ノブボルト

写真①



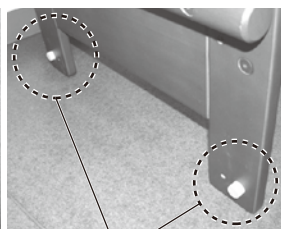
しまる ゆるむ

写真②



凹部

写真③



凸部

写真④



差し込む

写真⑤

⚠ 注意

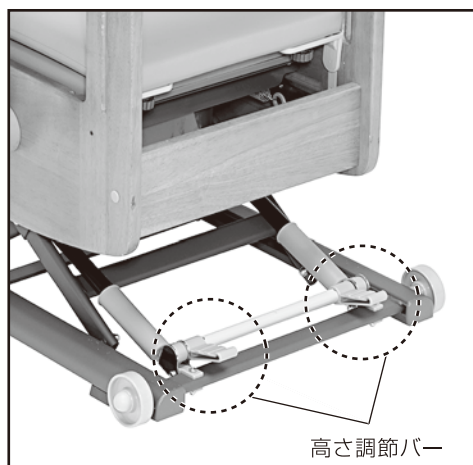
- ※高さ調節は片側ずつ行ってください。両側のノブボルトを一緒に外さないでください。
- ※ノブボルトを締める際は1ヶ所ずつしっかりと締めるのではなく、2ヶ所を仮締めしてから、しっかりと締めてください。
- ※凹部と凸部は4ヶ所とも同じ高さに合わせてください。
- ※ご使用の際はノブボルトを必ずしっかりと締めてください。
- ※高さ調節は本体を寝かさずに行ってください。本体を寝かされると傷がつくおそれがあります。

座面の高さ調節の仕方

タスカルC

1. 本体の後方にある高さ調節バーの左右どちらかを足で踏みながら、本体を上を持ち上げると、高さを自由に調節することができます。お好みの高さまで上げてから足を離して調節します。(写真①)
2. 下げる時は高さ調節バーの左右どちらかを踏みながら、本体を上から押し下げます。(写真②)

※高さ調節バーは左右どちらでも使用できます。

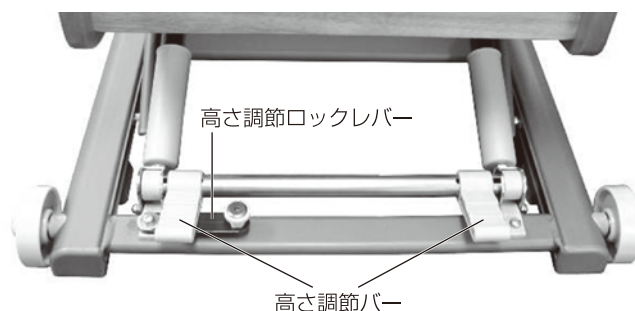


⚠ 注意

- ※座面の高さを調節した際は、必ずロックされた状態かどうかを確認してからご使用下さい。
- ※頻繁に左右どちらかの高さ調節バーに偏ってご使用になられると、本体が斜めになる場合がございます。その際は、もう片方の高さ調節バーをご使用いただくと戻ります。

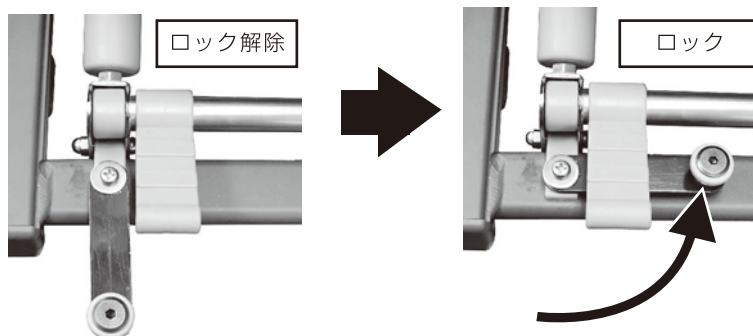
タスカルC高さ調節ロックレバーについて

高さ調節ロックレバーは利用者が「タスカルC」に座っている際に、介助者が誤って高さ調節バーを踏み、重さでポータブルトイレが下がるのを防ぎます。



座面の高さ調節を行った後、高さ調節ロックレバーを向かって右に90°回してください。

高さ調節ロックレバーが高さ調節バーの下に確実に入っていることを確認してください。



利用者がポータブルトイレ「タスカルC」に座っている際に高さ調節バーを踏むと、重さでポータブルトイレが下まで一気に下がり、大変危険です。

けがや故障の原因となりますので、調節をする時以外は高さ調節バーを踏まない様にご注意ください。



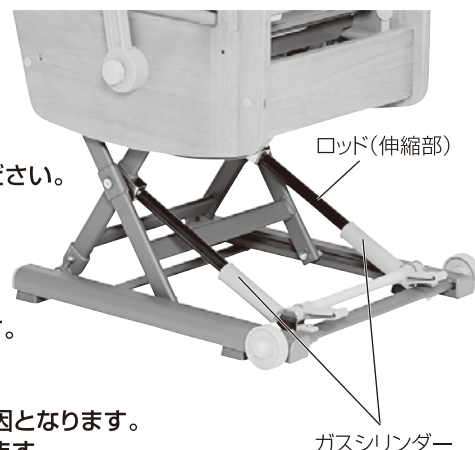
ガスシリンダーについて

タスカル C

・ガスシリンダーにより、座面の高さ調節がラクに行えます。

⚠ 注意

- ※3ヶ月に一度は座面の高さを最高、最低にする操作を最低3回は繰り返してください。
- 3ヶ月以上ガスシリンダーを動かさないと内部のシール材が劣化し、故障するおそれがあります。定期的に座面の高さ調節を最後まで繰り返し、ガスシリンダーを動かしてください。
- ※絶対に分解しないでください。高圧ガスが封入されており、そのまま分解すると大変危険です。
- ※火の中に入れるなど加熱しないでください。高圧ガスの膨張により本体が破裂したり、オイルが噴き出すなど大変危険です。
- ※水中での使用やホコリの多い場所での使用はしないでください。故障の原因となります。
- ※衝撃を加えるなどして変形させないでください。故障の原因となります。
- ※ガスシリンダーを塗装しないでください。
- ※ロッド(伸縮部)にオイルやグリスなどを注油したり付着させないでください。故障の原因となります。
- ※ロッドにホコリや粘着テープなどの異物を付着させないでください。故障の原因となります。
- ※ロッドに傷をつけないでください。故障の原因となります。
- ※ロッドは伸縮する度に少量のオイルが残留しますが、故障ではありません。
- ※多量のオイル漏れやロッドの伸縮に異常がある場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理を依頼してください。
- ※ガスシリンダーは消耗品です。徐々にガスの圧力が低下します。不具合が発生した場合はすぐに使用を中止し、交換してください。
- ※廃棄する際はガスが抜けきっていること(ロッドを縮めて伸びてこない状態)を確認してから廃棄してください。



便座角度調節の仕方

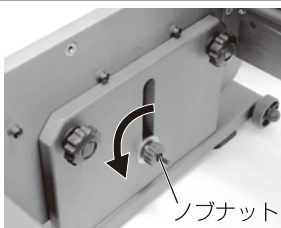
さわやかチェアⅡ

・前後に約3度、傾斜をつける事ができます。前傾させるとかがんでの排泄姿勢が取りやすく、立ち上がりもしやすくなります。また、後傾させると前に滑りにくくなります。

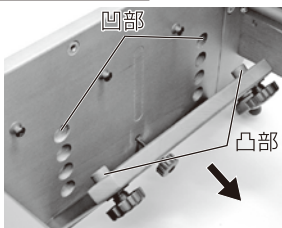
- 1.お座りパッドを上げて、バケツ、二重バケツを外します。(写真①)
- 2.本体内側にあるノブナットをぎりぎりまでゆるめ(写真②)、凹部から脚部の凸部を外します(写真③)。
- 3.前傾、後傾に合わせて凸部を入れ替えます。(写真④⑤)
(前傾:前一下向き、後一上向き、後傾:前一上向き、後一下向き)



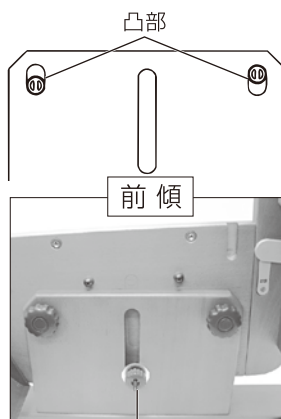
写真①



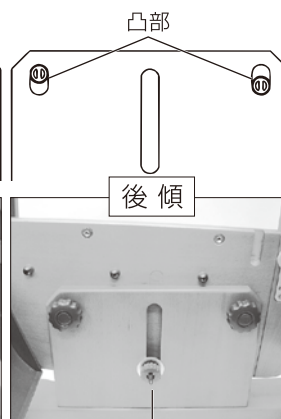
写真②



写真③

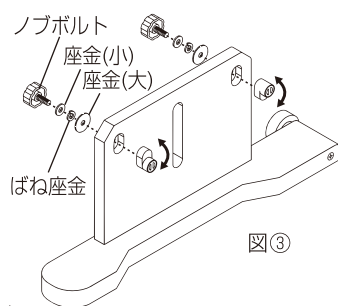


写真④



写真⑤

- 4.ノブボルトを外して座金(小)、ばね座金、座金(大)を取り外し、凸部を入れ替えてください。入れ替えた後座金(小)、ばね座金、座金(大)を通したノブボルトで締め、凸部を固定してください。(図③)
- 5.使用する高さに合わせ、L型レンチでノブナットをしっかり締めてください。
反対側も同じように調節してください。



図③

⚠ 注意

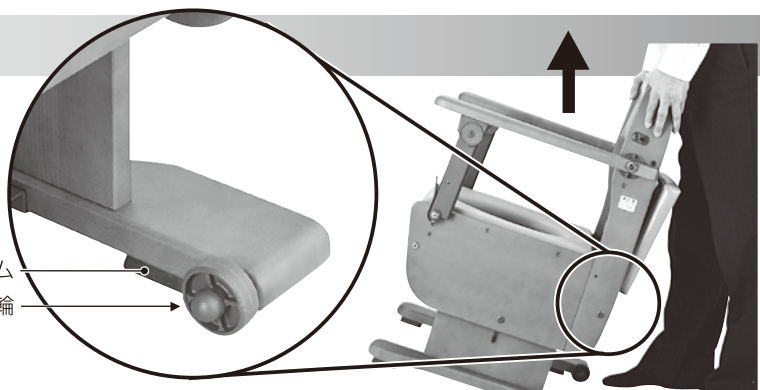
- ※便座角度調節は片側ずつ行ってください。
- ※凸部は左右とも同じ向き(前傾、後傾)に合わせてください。
- ※左右とも同じ高さの凹部に合わせてください。凹部で角度を付けないでください。
- ※便座角度調節後は、ノブボルトとノブナットを必ずしっかり締めてください。
- ※便座角度調節が困難な場合はノブナットをゆるめて外し、脚部を完全に外してから調節してください。

車輪について

右図のように本体を斜めに傾けると車輪が接地して、動かすことができます。
平面な所では脚部のゴムで固定しているので安心してご使用できます。

- ※お掃除のとき等、本体の位置を変えたいときにご利用ください。
- ※人や物をのせたまま移動させると故障やけがの原因になりますので、お止めください。

滑り止めゴム
移動用車輪



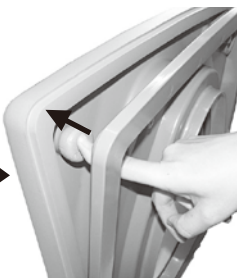
便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

便座の裏側から便座クッションを押して取り外してください。(写真①②)



写真①



写真②

● 取り付け方

便座クッション裏面の凸部を便座受けの穴に合わせ、上からしっかり押して取り付けてください。(写真③)



写真③



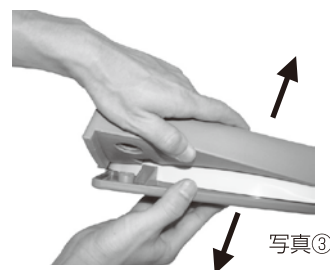
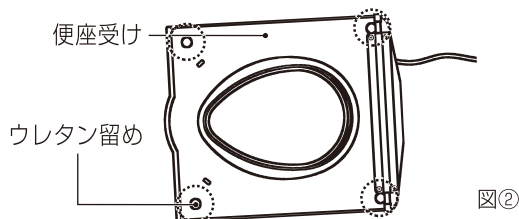
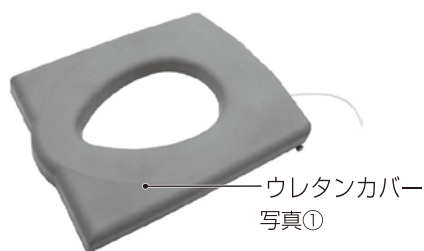
注意

- ※ 頻繁に便座クッションを取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※ 便座クッションを取り外す際は、必ず裏側から便座クッションを押して取り外してください。
- ※ 便座クッションを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。便座クッションが裂ける場合がございます。
- ※ 便座クッションがしっかり固定されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

ホット便座ウレタンカバーの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

1. 便座を本体から取り外し、ウレタンカバー（表面）を上向きに置いてください。(写真①)
2. ウレタン留め（4ヶ所・図①）周辺のウレタンカバーと便座受けの間に指を入れて、ウレタンカバーを取外してください。(写真②)



写真②

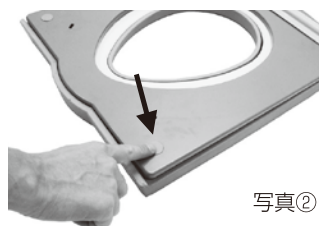
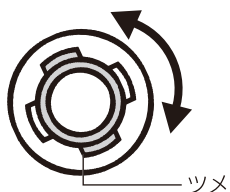
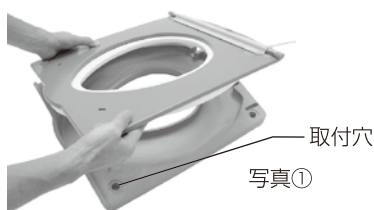


注意

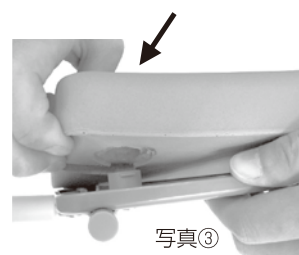
※ ウレタンカバーはゆっくりと取り外してください。破損するおそれがあります。

● 取り付け方

1. ウレタン留めのツメが90°回転していることを確認し、裏返したウレタンカバーに便座受けをのせてください。(写真①)
2. ウレタンカバーの取付穴にウレタン留めを合わせ、ウレタン留めを押し込んでください。(4ヶ所・写真②)
ウレタンカバーが入りにくい場合は、ウレタンカバーをめくり、ウレタン留めと取付穴が合っていることを確認しながら、ウレタンカバーを押し込んでください。(写真③)



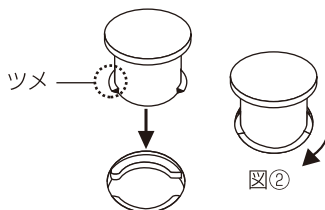
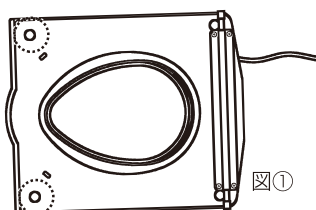
写真②



写真③

● ウレタン留めが外れた場合

1. 裏返したウレタンカバーにプラスチック部をのせてください。(図①)
2. ウレタン留めのツメとプラスチック部の取付穴の凹部を合わせて差込み、ツメが抜けないようにウレタン留めを90°回転させて、押し込んでください。(図②・写真①)



写真①

ホット便座について

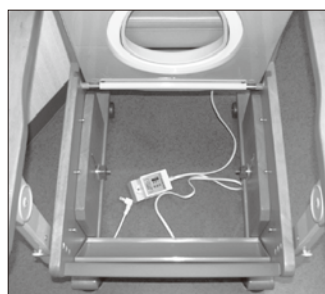
冬でも暖かなホット便座です。
表面はやわらかなので、長時間
座る方にも最適です。

※ホット便座は後付けができます。

●ホット便座の取り付け時の注意

※ホット便座の外し方、取り付け方は、
『便座の外し方』を参照ください。

1. ホット便座にはコードがついています。
ポータブルトイレ本体の中にコードを
垂らしてから便座を取り付けてくだ
さい。(写真①) コードを外に出したまま便座を取り付けると、便座を下ろした時に便座と本体にコードが挟まれ故障の原因となります。
2. 本体の後ろ、もしくは横からコードを出してください。(写真②)
3. スwitchボックスのコの字型金具を横板(写真③)、または後板に掛けて使用してください。(写真④)
※肘掛け自在タイプで両側とも短い肘掛けを使用している場合はコの字型金具を後板に掛けてください。



写真①



写真②



写真③
横板
スイッチボックス



写真④
後板

⚠ 注意

- ※スイッチボックスを必要以上に引っ張らないでください。破損、故障の原因となります。
- ※コードを便座とお座りパッドではさまないように注意してください。

●ホット便座ウレタンカバーの洗い方について

ホット便座のウレタンカバーは取り外して洗え、いつでも清潔にご使用いただけます。
便座、便座受けは水をふくませて固くしぼった布で拭いてください。汚れがひどい時は
水で薄めた中性洗剤をふくませたやわらかい布で拭いてください。その後、水拭きし、
洗剤が残らないように拭き取ってください。

- ※便座、スイッチボックスは電化製品が含まれていますので、絶対に洗わないでください。
故障の原因になります。
- ※便座、便座受けのお手入れ時には、安全のため、コンセントを外して行なってください。
- ※ウェットティッシュ(アルコール入)でウレタンカバーを拭くと色落ちしますのでお止め
ください。

⚠ 注意 ホット便座ご使用時の注意

季節やご使用方法によってホット便座の体感温度が低く感じる事があるかもしれませんが、
ウレタンカバーを外してのご使用は絶対になさらないでください。固定部品がついていま
すので、ケガをする恐れがあります。

電源を入れても便座はすぐに温まりません。暖房が必要な方は使用しない時も
電源を入れたままにしてください。また、お座りパッドは閉めてください。



固定部品

ホット便座の取扱説明書

■ご使用方法

1. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。電源は交流100V(50/60Hz)です。この時ほこりが付着していないか確認し、根元まで確実に差し込んでください。
2. 電源スイッチを「切」の位置から「弱」または「強」にしてください。

なお、スイッチを入れても便座はすぐに温まりません。温まるまで約60分かかります。

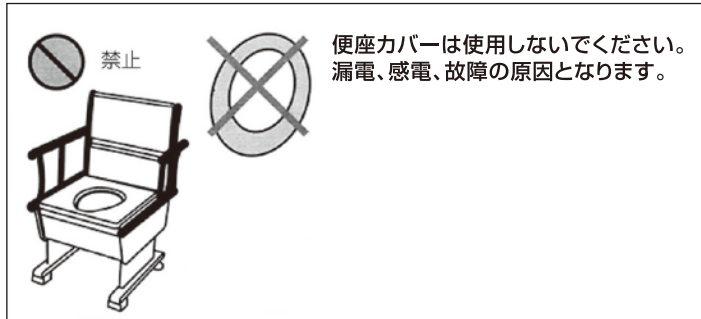
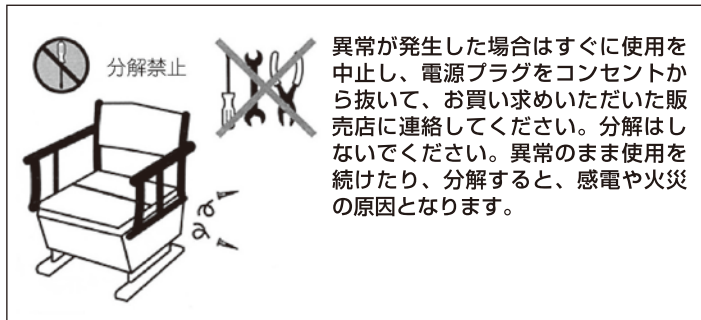
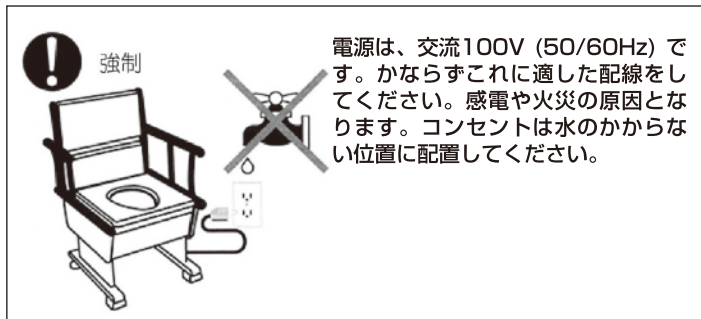
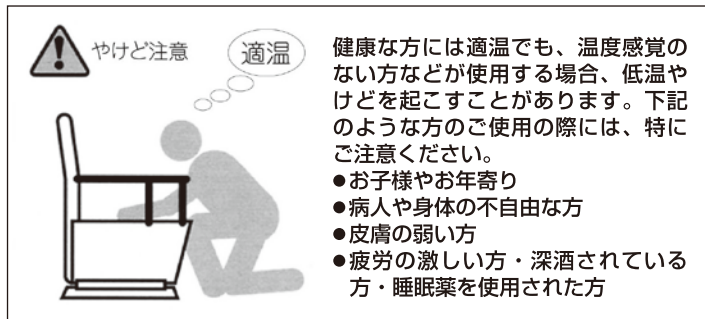
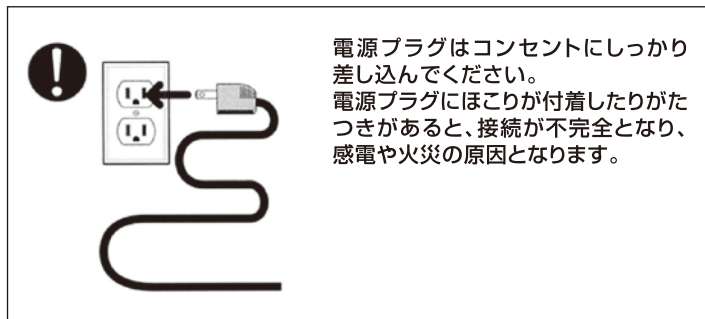
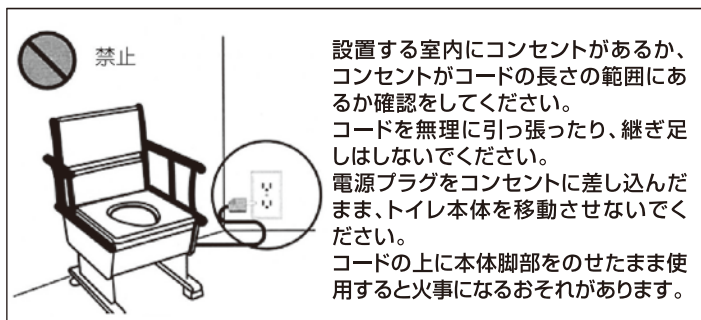
※お座りパッドを開いたままですと温まりにくくなります。

※使用しない時は、お座りパッドを閉めてください。

■安全上の注意事項（安全のため必ずお守りください。）

■仕様

定 格	AC100V-35W
表面温度	強/34~38℃ 弱/31~35℃ (室温20℃の時)
発熱体	ヒーター
スイッチ(温度調節)	強・弱 二段切替式
電源コード	ビニールコード
電源プラグ側	長さ1m



安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外・雨に濡れるような場所・直射日光のあたる場所・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・潮風の当たる場所・ストーブなど火気の近く・高温多湿、低温な場所・風通しの悪い場所
- 物を載せて運ぶなど、『ポータブルトイレ』以外の用途で使用しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 平坦な場所で使用してください。本体ががたついたり、変形、破損するおそれがあります。
- P タイルやフローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- がたつく場所や段差では車輪を使用しないでください。車輪や本体が破損するおそれがあります。
- 人が座っている状態やものを載せた状態での移動、バケツ内に水や汚物を入れたままでの移動はしないでください。破損、転倒、けがをするおそれや、水や汚物がこぼれるおそれがあります。
- ねじがゆるんだまま使用しないでください。破損、けがをするおそれがあります。
- 各部調整後はねじをしっかり締めてください。
- 便座の高さ調節は使用者の足が床に付く高さにしてください。使用者が転倒するおそれがあります。
- 下肢の筋力低下により倒れ込むように座られると本体が破損するおそれがあります。
- 立ち座りが安定しないなど、使用者の状況によっては介助者付き添いのうえ使用してください。
- ベッドサイドなどで使用する際はポータブルトイレの左右どちらかを、すきまをあけず隣接させて使用してください。
- 踏み台の代わりとして座面の上や肘掛けなどに立たないでください。特に便座穴にあたる中央部に荷重を掛けると、お座りパッドが破損するおそれがあります。
- 肘掛けや背シートを取り外した状態で使用しないでください。破損、けがをするおそれがあります。
- 勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- お座りパッドや便座の前縁部に腰掛けしないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 座った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けしないでください。また、身体を乗り出さないでください。転倒するおそれがあります。
- 利用者がポータブルトイレ「タスカルC」に座っている際に高さ調節バーを踏むと、重さでポータブルトイレが下まで一気に下がり、大変危険です。けがや故障の原因となりますので、調節をする時以外は高さ調節バーを踏まない様にご注意ください。
- 肘掛けや座面の片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けに腰掛けたり、もたれないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けに重いものを引っ掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや背シートをななめや他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で肘掛けの内外から荷重を掛けしないでください。破損するおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で背もたれに過度な荷重を掛けしないでください。破損するおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げたり下ろす際に、腕や手、指などをはさまないように注意してください。
- 肘掛けをはね上げて横移乗した後等の使用時には、必ず肘掛けをロックしてください。ロックされていないと不意に肘掛けがはね上がり、破損、転倒、けがをするおそれがあります。ロックする際は、指をつめたり、けががないよう注意してください。
- 背シートに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 背シートを立ち上がりやつたい歩き等のために使用しないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
- 背シートを後方に押さないでください。車輪で本体が動き、転倒してけがをするおそれがあります。
- 電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。発火するおそれがあります。
- 電源コードが破損する、次の行為はしないでください。
 - ・踏む・重いものを載せる・無理な力で引っ張る・足を引っ掛ける・折り曲げたり束ねる
- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 本体に直接水を掛けて洗わないでください。
- 安心、安全にお使いいただくため、使用前や定期的に点検を実施してください。製品に異常がある場合は使用を中止し、お問い合わせの販売店にご連絡ください。

お手入れ方法

- 水拭きした後、乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れがひどい時には水で薄めた中性洗剤を布に浸し、強く絞って拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。※ご利用の洗剤の使用方法にあわせてください。
- 木部を頻繁に拭きますと塗装がはがれるため、変色の可能性があります。
- お手入れには、トイレ用洗剤・塩素系、酸性、アルカリ性洗剤・除菌剤・殺虫剤・クレンザー・クレゾール・アルコール・ウェットティッシュ（アルコール入）・シンナー・ベンジン・灯油などの溶剤は絶対に使用しないでください。また、ナイロンたわしなどを使ってお手入れをされますと傷みの原因となりますのでおやめください。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

ウチ工株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372
関 東 営 業 所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312
福 岡 営 業 所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵 庫 工 場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合がございます。予めご了承ください。

20.12.V